

中央アルプス 滑川前岳沢

小暮（憲）

【日時】 2013年9月14日（土）

【メンバー】L小暮（憲）、小暮（智）、五十嵐

台風に翻弄された3連休は、当初の下田の2泊3日の計画から中央アルプスへの転進。更に日帰りに計画変更を余儀なくされ、こんな時でもなければなかなか行く機会の無いアプローチの長い前岳沢に行くことになった。

大堰堤の駐車場に車を停めて林道を出発。敬神ノ滝小屋からは沢沿いの林道を真っ直ぐ進み、最終堰堤の先から入渓する。滑川本谷は、水量が多い上に、大きな岩が多くて、沢沿いに進むのがなかなか難しい。水流を避けて右に左に藪を掻きわけ、渡渉を繰り返す。入渓から1時間強で三ノ沢出合いに着く頃には、単調で疲れる廻行に少々嫌気が差してきた。大汗をかいていた五十嵐さんは、調子が悪く疲れてしまってペースが上がらないのでここから戻りたいという。ゆっくり歩いて、もう少し様子を見ましょと説得し、更に1時間強歩いて、奥三ノ沢出合に着く。奥三ノ沢の出合いに掛かるF1 30mは立派だが、以前、アイスクライミングで訪れた時は幅広100mのカーテンのような美しい氷で感激したのとは印象が違い、2条の滝が藪っぽい中に流れが落ちている。どうやら、氷瀑の方が格段に美しく格好良いようだ。ここで五十嵐さんの心は折れる寸前で、やはりここから引き返したいと言う。全員でここから引き返すか協議するが、あと少しで行けば前岳沢出合いなので、再び五十嵐さんを説得して廻行を続ける。渓相がこの辺りからやや変化して、岩が小さくなり沢沿いに歩き易くなってきた。ゴーロを少し進むと、ようやく前岳沢出合いだ。

前岳沢に入ると水量はぐんと減り、一気に傾斜が強くなる。ここまでのアプローチでかなり時間がかかってしまった上、天気は下り坂で、周囲はすっかりガスの中に入ってしまった。できれば、ここからテンポアップして登りたい。前岳沢に入ってからすぐのスダレ状の5m滝は、水流左の凹角から登る。登攀になったら、五十嵐さんも調子が出てきたようで、ペースが上がって一安心。階段状に続く沢を登っていくと、8m滝が出てきて、ここは右側をロープを使って登る。続く3m滝を越えると、核心の連瀑帯だ。1段目15m滝は、水流沿いは立っており、右側も外傾していて滑りそう。左側の



8m滝、右からロープを使う



連瀑 1 段目 15m 滝、岩登りの



20m パノラマ滝、見た目より厳しい



25m ナメ滝

乾いた岩を狙うが水流脇は少々立っているの、更に左のルンゼ状から一段登り、灌木の残置スリングの所から岩のテラスをトラバースする。まるっきり岩登りのような感じで少々怖い。最後は落ちそうに見える大岩を乗り越して落ち口へ出る。アクアステルスなので、フリクションばっちりだが、フェルトだと苦労しそう。2段目は右側からフリーで登り、3段目は飛沫をくぐって水流を左へ渡って、そのまま巻き気味に滝上へ抜けた。シャワーを浴びてすっかりびしょ濡れだ。その上は、パノラマ滝と名づけられた見映えの良い20mのナメ状の滝。中央をロープをつけて登るが、見た目よりも傾斜が強くて難しく、岩登りっぽい。ハーケン、ナッツ、エイリアン等でプロテクションを取りながら登る。

その先で二俣に分かれ、難所は越えたようだ。3m、6m滝などは特に問題なく登っていく。右から上部がナ

メになっている10m滝が二俣で合わさり、CS滝、7mナメ滝などどんどん登っていく。

次第に源頭の雰囲気となり、水が乏しくなるので、水を汲む。25mナメ滝は、上部のハイライトといった感じでなかなか美しい。フリーで登っていくが、最後の部分で傾斜が強くなるので、落ち口付近でロープを使った。その上は、ガレ登りようになってきたところで、最後の4mCS滝。正面突破を試みるが、少々厳しい。左岸にロープを使って登る。一步が少々遠い。その先で、登山道が横切るので、ここで終了とする。

時間は16時を回っていてすっかり遅くなってしまったが、台風が来ていて、明日も朝から雨が降りそうなので、急いで下山にかかる。五



合目の金懸小屋に着く頃には、日が暮れそうだ。畳と布団もあって快適に泊まれそうな小屋だったが、単独の方が既に大の字で寝ていたので、先を急ぐ。最後はヘッドンとなり、つづら折れの登山道で少々疲れた。

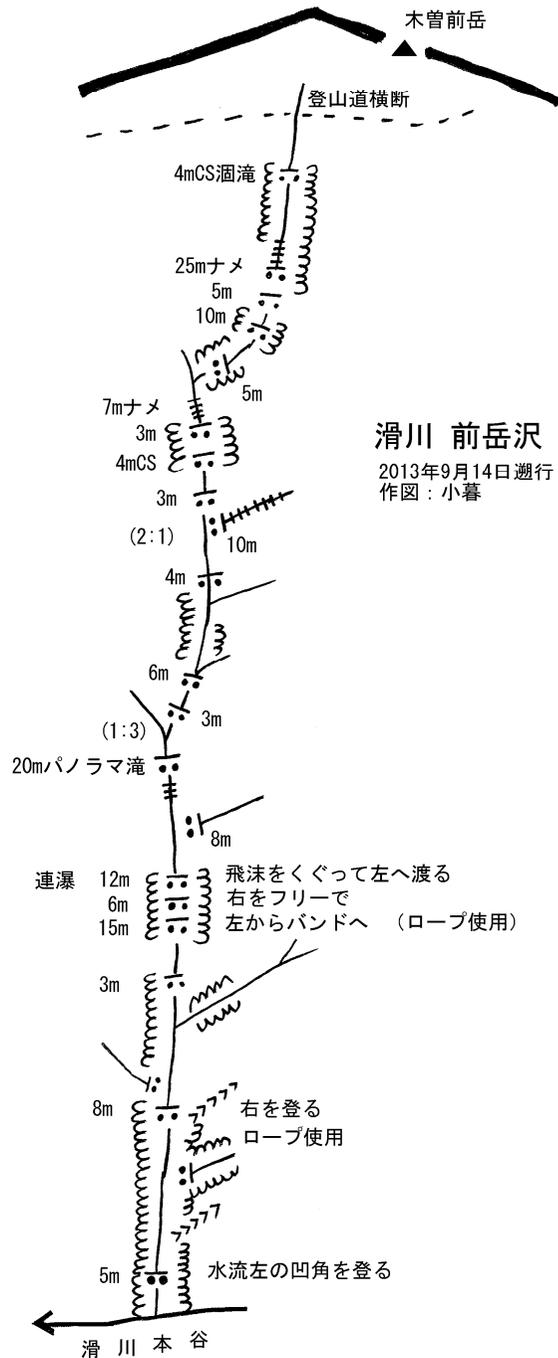
前岳沢は、遡行自体は短いのに、本流のアプローチが長くて巨岩帯登りで疲れるのが難点。登れる滝が続き、ロープを出す滝は岩登りの結構面白いに残念である。このアプローチの悪さを考えると、人気が出ないのも分かる。グレードは、関東周辺の沢では、日帰り4級となっているが、そこまで難しい感じは無かった。昔は、アクアステルスが無かったので、4級だったのかもしれない。

(おまけ) 下山後は、伊那の森の中に住む五十嵐さんの山岳部の先輩のお宅にお世話になった。半ば強引に押しかけるような形で泊めさせていただいたが、五十嵐さんの昔の暴露話も出たりして、楽しい一夜を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

【行程】 9/14 北股沢堰堤駐車場 (7:00)～敬神ノ滝小屋(7:20)～滑川最終堰堤(7:45)～三ノ沢出合(9:00)～奥三ノ沢出合(10:45/11:10)～前岳沢出合(11:35)～登山道(16:10)～金懸小屋(18:00)～敬神ノ滝小屋(19:25)～駐車場(19:45)

【地図】 上松、木曾駒ヶ岳

【グレード】 3級上



滑川 前岳沢

2013年9月14日遡行
作図：小暮